

*Wonders of creation in the daily life here
-workshops for a filming of Hiroyuki Oki*

Screening and Performance at ARCUS Studio

*Saturday, 27 February, 2016
16:30-19:00*



〈映像作品のための連続／断続的ワークショップ〉

大木裕之と過ごす私の守谷・茨城、日常的妙。

↑上映＋その他のアクション↑ 日時↑平成28年2月27日「土」16時30分ー19時 会場↑アーカススタジオ

ARCUS

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriyo, Ibaraki

アーカスプロジェクト 2015 いばらき

〈映像作品のための連続 / 断続的ワークショップ〉

大木裕之と過ごす私の守谷・茨城、日常的妙。

- 上映 + その他のアクション -

Wonders of creation in the daily life here - workshops for a filming of Hiroyuki Oki
- Screening and Performance

日時 | 2016年2月27日[土] 16:30 - 19:00

会場 | アーカススタジオ 入場 無料

大木は独自の視点を保ちながら日常生活を送り、そしてそれが自身の制作活動と直接的に結びついています。あるテーマをもとにある場を訪れ、出会った人々や事象を映像作品という手法を用いて、鋭く繊細な独自の視点で掬い上げます。(特定の場所やコミュニティで長期にわたり撮影された映像には、人々の営み、宗教、政治、美しい自然、街の景色、セクシャリティーなど、様々な瞬間が独特の浮遊感と緊張感をもって詩的に紡がれている。)大木にとって映像撮影とは、それらを親密に理解し、関わっていくための道具とも言えるでしょう。その膨大な作品群からはカメラが捉えた全てを、さらには画面には映っていない普遍的な事象の全てをも祝福するような印象を受けます。

〈映像作品のための連続 / 断続的ワークショップ〉大木裕之と過ごす私の守谷・茨城、日常的妙。では、そんな作家を、守谷・茨城で生活する参加者たちが撮影アテンドし、彼らが見つめる守谷・茨城を作家が歩き、撮影しました。

本企画では、2014年度から継続しているこの活動の成果として、上映+その他のアクション を開催、大木氏の新作を発表します。ワークショップ参加者の、または大木のまなざしを感じ、普遍性をともなう映像作品として昇華した活動の軌跡を体験しに、ぜひアーカススタジオへ足をお運びください。

関連プログラム | アフタートーク Related Program | Screen Talk

ゲスト | 前田 真二郎 Shinjiro MAEDA

映像作家 / 情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 教授

1969年大阪生まれ、京都精華大学大学院美術研究科修了。映像メディアを「未知を発見する道具」と捉え、コンピュータを用いた自動編集による作品や、撮影行為をコンセプトに据えた映画を制作。映画、メディアアート、ドキュメンタリーなどの分野を横断して、イメージフォーラムフェスティバル、恵比寿映像祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭などで発表。舞台や美術など他領域アーティストとのコラボレーション、展示会の企画も積極的にすすめている。

2005年よりDVDレーベル SOL CHORD を監修。

WEBムービー・プロジェクト「BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW」が、第16回文化庁メディア芸術祭・アート部門にて優秀賞を受賞。

大木 裕之 Hiroyuki OKI

1964年 東京都生まれ。
現在、高知、香川、東京などを拠点に活動している。
東京大学工学部建築学科在学中の80年代より映像制作を始め、卒業の翌年に制作した「遊泳禁止」(1989)でイメージフォーラム・フェスティバル1990審査員特別賞を受賞後、1991年より高知県に制作活動の拠点を置く。1996年には「天国の六つの箱 HEAVEN-6-BOX」(1994-95 / 高知県立美術館制作)で、第46回ベルリン国際映画祭ネットバック賞を受賞し、その後も数多くの映画祭にて作品が上映されている。活動は映像制作のみに留まらず、インスタレーション、パフォーマンス、ドローイングやペインティングまで、その表現方法は多岐に渡る。

主な展示会に、「時代の体温」展(世田谷美術館、1999年)、「How Latitudes Become Forms: Art In a Global Age」(ウォーカーアートセンター / ミネアポリス、米国、2003年)、「六本木クロッシング」(森美術館、2004年)、「マイクロポップの時代: 夏への扉」(水戸美術館、2007年)、「Out of the Ordinary」(ロサンゼルス現代美術館 MOCA / 米国、2007年)、「大木裕之展「建築の夢」」(ワタリウム美術館 オン・サンデーズ、2010年)、大木裕之展「現代子」(高松市塩江美術館、2014年)、「[被爆 70 周年: ヒロシマを見つめる三部作 第1部] ライフ=ワーク」(広島市現代美術館、2015年)などがある。

アーカスプロジェクト 2015 いばらき 主催 | アーカスプロジェクト実行委員会 協力 | ARATANIURANO

問合せ先 | アーカススタジオ 〒302-0101 茨城県守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内

TEL : 0297-46-2600 (火-土 10:00-19:00)

E-mail : arcus@arcus-project.com Web : www.arcus-project.com

FB : http://facebook.com/arcusproject TW : http://twitter.com/arcusproject

アクセス |

【電車・バスの場合】 つくばエクスプレス、又は関東鉄道常総線で「守谷駅」下車、駅西口2番乗り場から関東鉄道バス「新守谷駅」行きで「守谷高校入口」下車、徒歩5分。又は、駅西口1番乗り場からモコバスAルート、毎時20分発の「いこいの郷・板戸井方面」で「守谷高校前」下車、徒歩2分。

【車の場合】 ふれあい道路を水海道方面へ直進。「市民交流プラザ交差点」を左折して直進。又は常磐自動車道「谷和原 I.C.」から約10分。国道294号線「新守谷駅前交差点」を右折。「守谷高校入口交差点」を左折すると左手に守谷高校、正面が「もりや学びの里」です。

ARCUS

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriya, Ibaraki

